

世界の青年が野々市を来訪～世界青年の船～

1月18日(休)、平成29年度世界青年の船事業
地方プログラムの一環として、モザンビークと
メキシコの青年が野々市を訪れました。

訪れた青年24人は2グループに分かれ、喜
多家住宅と郷土資料館を見学。喜多家12代当
主の敬次さんとののいち里まち倶楽部のメン
バーが、建物の構造や歴史について英語で説明
すると、「この道具は何に使うのですか」などと
青年から質問が飛び出していました。

また、青年らは抹茶を体験。和菓子ととも
なじみのない抹茶を味わい、日本の文化を学
びました。

最後に訪れた学びの杜ののいち カレードで
は館内を見学した後、折り紙サークル「たれば
んだ」の東氏ら指導のもと、折り鶴を作成しま
した。経験したことのない作業に苦勞していま
しましたが、全員が見事折り鶴を完成させました。

前週に降った大雪の影響もあり、市内の至
る所に雪が積もっていましたが、自国では珍
しい雪を見て青年らは大興奮でした。

参加した青年からは「抹茶がおいしかった」「雪
をまとった喜多家住宅の庭が素敵だった」「す
べてとてもよかったが、特に図書館はわくわく
した」と満足の声が聞かれました。



平成29年度 市俳句協会新年句会

2月3日(土)、富奥防災コミュニティセンターで会員25人が参加のもと、新年句会が開
催されました。市文化協会への加入25周年を記念した句会の秀句抄を紹介します。

秀句抄

一位 黒髪にどんどの匂ひ持ち帰る

南 邦夫

二位 下校児の手加減なしの雪礫つがひ

瀬戸 初枝

三位 禅堂の明けの一燈春浅し

松本 黎子

入選 ころもまで歳はとるまじ初鏡

中村 珠栄

雪すかし一行で足る日記かな

山田 季未

ゆるやかに年重ねたり冬銀河

奥村誠一路

五箇山の黙もたの中なる冬銀河

笹野 邦子

撫で牛の背せなにあそべる寒雀

小林 清枝

奥村誠一路先生

特選 黒髪にどんどの匂ひ持ち帰る

南 邦夫

準特選 禅堂の明けの一燈春浅し

松本 黎子

初春の新図書館に字を拾ふ

山田 深雪

西田さい雪先生

特選 黒髪にどんどの匂ひ持ち帰る

南 邦夫

準特選 ころもまで歳はとるまじ初鏡

中村 珠栄

朝日差しりても大寒風固し

水橋眞智子

林和子先生

特選 下校児の手加減なしの雪礫つがひ

瀬戸 初枝

準特選 温もりを花芯に秘める寒牡丹

藤谷 幸恵

待春やホットケーキを子等と焼き

辻 文江